

Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	研究科園芸学専攻				
科目名称	果樹園芸学特論 I			授業形態	講義				
科目コード	611100	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブラーニング	○
担当教員名	前田 隆昭							ICT活用	
授業概要	果樹と一言で言っても温帯から熱帯まで幅広く存在する。本講義では、各々の果樹について解説するとともに、最新の研究成果を提示しながら科学的に講義を進めていく。また、各果樹の生産場面における栽培技術の特徴や問題点を紹介することにより、応用学問としての理解をさらに深めていく【知識・理解の育成】。								
関連する科目	履修後は果樹園芸学特論Ⅱを履修することが望ましい。								
授業の進め方と方法	毎回、授業の始まりに、前回の復習を兼ねて小テストを行う【知識・理解の育成】。その後、授業を始める。授業はパワーポイントを用いて行う。本授業はディスカッション、プレゼンテーションを取り入れたアクティブラーニング形式で実施する【専門分野の知識・技能の育成】【コミュニケーション能力の育成】。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の進め方についてガイダンス授業の概要および進め方について説明する。 2. 落葉果樹1 (リンゴ・ナシ・カキ・モモ・ウメなど) 我が国での落葉果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 3. 落葉果樹2 (リンゴ・ナシ・カキ・モモ・ウメなど) 我が国での落葉果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 4. 落葉果樹3 (リンゴ・ナシ・カキ・モモ・ウメなど) 我が国での落葉果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 5. 落葉果樹4 (リンゴ・ナシ・カキ・モモ・ウメなど) 我が国での落葉果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 6. 常緑果樹1 (カンキツ類を中心に) 我が国での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 7. 常緑果樹2 (カンキツ類を中心に) 我が国での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 8. 常緑果樹3 (カンキツ類を中心に) 我が国での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 9. 常緑果樹4 (カンキツ類を中心に) 我が国での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 10. 常緑果樹5 (カンキツ類を中心に) 我が国での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 11. 熱帯果樹1 (マンゴー・アボカドなど) 我が国での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 12. 熱帯果樹2 (マンゴー・アボカドなど) 我が国での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 13. 熱帯果樹3 (マンゴー・アボカドなど) 我が国での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 14. 熱帯果樹4 (マンゴー・アボカドなど) 我が国での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 15. 熱帯果樹5 (マンゴー・アボカドなど) 我が国での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 								
授業の到達目標	最先端の果樹園芸学の研究や国内の先進農家の栽培上の問題を知ることにより、現在の果樹園芸が抱える諸問題について、どのように解決したらよいか自ら考えるようになることを目標とする【専門分野の知識・理解の育成】。								
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・技能と教養-(1)食・緑」の専門分野における高度な知識・技能								
授業時間外学習【予習】	次回、講義で使用する資料を配布するので、事前に予習すること(約1時間)。								
授業時間外学習【復習】	講義の内容を復習し、次回講義の際の小テストに備えること(約1時間)								
課題に対するフィードバック	小テストについては、終了後解説する。								
評価方法・基準	受講態度(50%)、課題提出(50%)								
テキスト	随時、資料を配布する								
参考書	特になし								
備考									